

## ■東郷町巡回バス路線再編にあたっての条件整理

		西コース	北コース（右回り）	北コース（左回り）	南北コース	全体（共通）	根拠資料
利用 実態	利用者数	横ばい	横ばい	横ばい	増加	増加	運行実績報告書
	乗り継ぎ利用割合	低下	低下	増加	増加	—	H29 乗込み調査
	便別バスの乗車人数	—	平日の特定便に小学生利用 （後山→東脇）が集中	平日の特定便に小学生利用 （東脇→後山）が集中	平日の特定便に小学生利用 （部田コミセン⇔四ツ塚） が集中	全便を通して4人（タクシー定員） を下回る区間はない	H30.6 乗降調査集計 【資料1】
	主なOD	・役場周辺⇔各地区 ・涼松→春木	・日進駅→白鳥 ・白鳥→諸輪 ・後山→東脇	・白鳥→日進駅 ・諸輪→白鳥 ・東脇→後山	・日進駅⇔白鳥 ・白鳥⇔祐福寺 ・部田コミセン⇔四ツ塚	—	H29 乗込み調査 【資料2】
利用者 ニーズ	利用者の総合的満足度	向上	向上	向上	向上	乗継情報・案内に関する満足度、 乗継待ち時間に関する満足度は低下	H29 利用者アンケート
	セントラル地区バスターミナル整備の際に重視すべきこと	・全コースの乗入れ ・隣接市コミュニティバスへの乗換え	・運行状況がわかる環境整備 ・路線バス乗換えによる隣接市の駅アクセス	・路線バス乗換えによる隣接市の駅アクセス ・全コースの乗入れ	・路線バス乗換えによる隣接市の駅アクセス ・運行状況がわかる環境整備	・路線バス乗換えによる隣接市の駅アクセス ・全コースの乗入れ	H29 利用者アンケート
住民 ニーズ	最も利用する鉄道駅	赤池駅	日進駅	日進駅	赤池駅、日進駅	—	H30 町民アンケート 【資料3】
	じゅんかい君路線再編の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゅんかい君は、東郷セントラル地区バスターミナルに乗入れるルート設定への賛成が多いが、いこまい館を中心としたルート設定も賛成のほうが多い。</li> <li>・赤池駅や徳重駅へは、路線バスでアクセス、じゅんかい君で直接アクセス（じゅんかい君の本数減はやむを得ない）ともに賛成のほうが多い。</li> <li>・新しい交通システム（デマンド型交通、AIタクシー）の導入に対しては反対のほうが多く、現行の定時定路線バスの継続は賛成のほうが多い。</li> </ul>					
	デマンド型交通の利用意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的に移動できても、運賃がバスより高額になるのであれば利用しない意向が強いが、65歳以上の方は比較的利用意向が強い。</li> <li>・今までどおり、事前に予約が不要な定時定路線バスの利用意向が強い。</li> </ul>					
まちづくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東郷町都市計画マスタープランに示される「集約型都市構造への転換」実現のため、セントラル地区を中心とするバスネットワークの形成が必要。</li> <li>・セントラル地区は、路線バス、じゅんかい君等の乗り継ぎ拠点、交通結節点として整備することが必要。</li> </ul>					東郷町都市計画マスタープラン、東郷町まちづくり計画 【資料4】

## ■東郷町巡回バス路線再編の基本方針（案）

**H24 再編後、利用者数は概ね増加傾向にあるとともに、利用者の満足度も概ね向上していることから、現状のコース設定を大きく変えない方針とする。上記を前提としたうえで、セントラル地区への乗入れを考慮したルート変更を行う。**

- 既存路線バスは、現状のサービス水準を維持し、町外の拠点施設や鉄道駅との連携については、路線バスによるネットワーク形成を基本とする。
- じゅんかい君は、利用の多いODには現状通り対応できるよう留意しつつ、利用の少ない区間の短縮、時間限定運行等により運行の効率化を図るとともに、デマンド交通の導入可能性を検討する。
- 東郷セントラル地区バスターミナルを乗り継ぎ拠点として位置付け、じゅんかい君の全コース及び一部路線バスを乗入れ、待合環境を整備する。
- バスターミナル等においては、じゅんかい君相互の乗り継ぎ、じゅんかい君と鉄道・路線バスの乗り継ぎを考慮したダイヤ設定とする。
- 利用者が安心して利用できるよう、安全な運行に留意したルートとする。
- 町外の鉄道駅へのアクセスについて、路線バスと連携した適正な運賃設定を検討する。